

保健センター 外壁改修工事のお知らせ

保健センターで、外壁の改修工事を実施します。工事期間中は、騒音や振動が発生する場合があります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

- ▶ 工事期間／10月上旬～令和7年1月下旬（予定）
- ▶ 問合せ／同センター（☎75-2322）へ

スイトピアセンター

文化会館1・2階トイレ改修工事のお知らせ

スイトピアセンターで、文化会館の1階西側・多目的トイレと2階トイレの改修工事を実施します。工事期間中は、当該トイレの使用ができず、騒音や振動が発生する場合があります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

- ▶ 工事期間／11月下旬～令和7年2月下旬（予定）
- ※ 工事中は「文化ホール東側トイレ」をご利用ください。
- ▶ 問合せ／文化振興課（☎47-8067）へ

審議会などの傍聴ができます

大垣西インターチェンジ周辺土地利用構想検討委員会 担当：都市計画課（☎47-8694）		
10/18(金)	9:00～11:00	市役所4階 情報会議室
・大垣西インターチェンジ周辺土地利用構想（素案）について ほか		
大垣公園等再整備基本計画市民検討委員会 担当：公園みどり課（☎47-8419）		
10/24(木)	9:30～11:00	市役所4階 情報会議室
・大垣公園などの動線とゾーニングについて ほか		
地域創生総合戦略推進委員会 担当：地域創生戦略課（☎47-8216）		
10/29(火)	10:00～12:00	市役所4階 情報会議室
・地域創生総合戦略の効果検証について ほか		
スポーツ推進審議会 担当：社会教育スポーツ課（☎47-8038）		
10/31(木)	17:00～18:30	市役所6階 会議室6-3・4
・第2次教育振興基本計画（スポーツ分野）の改定について ほか		

地域公共交通計画に関する地域懇談会

地域の移動に関するニーズや大垣市地域公共交通計画（骨子）への意見などを広く聞くため、地域懇談会を下表のとおり開催します。詳しくは、交通政策課（☎47-7386）へ。

とき	ところ
10月17日(木) 19:00～20:00	武道館 第1会議室
10月18日(金) 19:00～20:00	西部研修センター 多目的ホール
10月22日(火) 19:00～20:00	中川ふれあいセンター 集会室
10月24日(木) 19:00～20:00	情報工房5階 スイックホール
10月29日(火) 19:00～20:00	上石津農村環境改善センター 多目的ホール
10月30日(水) 19:00～20:00	墨俣地域事務所1階 大会議室

募集

廃棄物減量等推進審議会の市民委員

- * 対象／市内在住・在勤・在学の18歳以上（令和6年12月24日現在）で、国・地方公共団体の議員や常勤の公務員ではない人
- * 活動内容／一般廃棄物の減量化、資源化および適正処理に関する審議や施策についての提言など ※会議は平日の昼間に年2回程度開催
- * 任期／12月24日～令和8年12月23日（2年間）
- * 募集人数／2人程度
- * 応募方法／10月16日～11月6日（消印有効）までに、クリーンセンターで配布の応募書（市HPからダウンロード可）に必要事項を記入し、廃棄物

の減量化、資源化、適正処理、環境に関する意見・提案書（400字程度、様式自由で未発表のもの）を添えて、同センター（〒503-0847 米野町3-1-1、e-mail: kurinsenta@city.ogaki.lg.jp、FAX89-6090、☎89-4124）へ

大垣市体育連盟職員

- （公財）大垣市体育連盟は、令和7年4月採用の職員を募集します。申込書の配布など詳しくは、同連盟事務局（総合体育館内、☎78-1122）へ。
- * 応募資格／大学卒業以上の学歴を有する人（令和7年3月卒業見込み含む）
 - * 業務内容／スポーツの普及・振興など
 - * 募集人数／若干人（選考）
 - * 受付期間／10月15～31日の午前8時30分～午後5時

市民病院・豊田院長の健康コラム No.7

怖い病気、クモ膜下出血 ～予防のために脳ドックを～

今回は、クモ膜下出血という、非常に怖い病気についてお話しします。ある日突然発症し、そのまま命を奪う可能性が高い病気、しかも若い人でも起こりうる病気です。一命を取り留めることもあります。そういう場合でも重い脳障害を残すことが少なくありません。



クモ膜下出血とは、脳と頭蓋骨の間隙（クモ膜下）に出血が起こった状態です。外傷性クモ膜下出血といって、頭の強打による脳血管からの出血が原因の場合もありますが、突発的に起こる場合は「脳動脈瘤」という脳内の血管が膨れてできた瘤（こぶ）が破れて出血することが原因です。瘤になった血管の壁は非常に薄くなっており、破れて穴があく危険が高いのです。穴があけばクモ膜下出血をきたし、その量や部位によって重い結果になります。これを防ぐにはまず脳動脈瘤があることを発見し、破れないように治療をする必要があります。

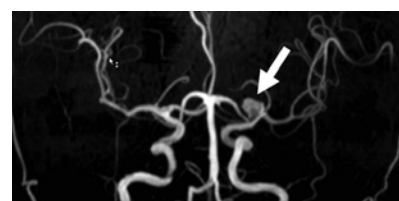
クモ膜下出血は、頭痛など前兆の症状が出ることは、実は少ないのです。ではどうやって調べるのか。それが「脳ドック」です。行うのは単純に頭のMRIですが、MRIは頭の小さな脳梗塞や腫瘍を見つけ出すと同時に、あなたの脳の血管の走り方・動脈瘤ができていないかを鮮明に映し出します。すべての動脈瘤に治療が必要なわけではありませんが、時として治療が必要な、破裂すなわちクモ膜下出血を起こす危険のある動脈瘤が見つかることがあります。

クモ膜下出血は遺伝疾患ではありませんが、親族に起こした人がいる

場合は注意をした方がいいかもしれません。例えば親族は顔が似ていますよね。同様に、脳の血管の走り方は個人で微妙に異なっていますが、動脈瘤ができやすい形をしているかどうかは、親族間で似ている可能性があります。そういう場合は一度検査をしておくことをお勧めします。

脳動脈瘤の治療は、従来から頭蓋骨に穴を開けて動脈瘤をクリップで挟む開頭手術が主流でした。現在では、それより体の負担が少なく、切らずに治す血管内治療が進んでいます。体の血管は全身すべてつながっています。そこで採血や心臓カテーテル検査のように、腕や足の付け根の血管からカテーテルを入れていくと、頭の動脈瘤に到達できるわけです。カテーテルを使ってそこに詰め物をして破れないようにする、これが血管内治療です。脳の血管ということで、破れてしまえば脳出血、血管そのものが詰まってしまえば脳梗塞になるので、非常に緊張・集中を要する治療です。市民病院の脳外科チームは、この方法での治療を行っており、特に今井資先生という今までにたくさんの患者さんの治療を行ってきているエキスパートがいます。

心配な方は、まずは脳ドックを受けてみましょう。動脈瘤がなければ安心ですし、発見されれば治療により命拾いになります。脳ドック検査は安心・予防の第一歩です。



▲MR検査による脳内の血管と脳動脈瘤（矢印部分）。白く写る血管の中で動脈瘤が瘤（こぶ）のように膨らんでいます。これが破れるとクモ膜下出血になります。

コラムで取り上げてほしい話題などは、入力フォームへ



入力フォーム